

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成22年3月17日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

その他 : 12 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	電解鉄イオン供給装置海水供給ポンプ(A)吐出ラインドレン弁において、シートリークが認められたため、当該弁を交換。	D	
2	2号機	直流250V蓄電池点検時、蓄電池7個の防まつ栓のOリングに切れが認められたため、当該Oリングを交換。	D	
3	2号機	計装用空気圧縮機(A)用電動機点検時、油切りの部品(フェルト)に欠損が認められたため、当該部品を交換。	D	
4	2号機	所内変圧器(2B)冷却ファン用電動機点検時、回転子フィンに曲がり(5台)が認められたため、対応検討。	D	
5	2号機	原子炉建屋給気ファン(B)電動機において、給油口配管(反負荷側)に曲がり(5台)が認められたため、当該配管を交換。	D	
6	3号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(C)の渦流探傷検査時、伝熱管29本に管理値外れが認められたため、当該伝熱管を交換。	D	
7	3号機	炉心性能計算機において、遠隔表示不良(事務所のパソコンで確認できない)が認められたため、原因を調査後、対応検討。	D	
8	3号機	原子炉停止余裕検査の検査成績書において、記載漏れ(測定計器のレ点)が認められたため、当該成績書を訂正。	C	
9	3号機	制御棒位置指示系において、制御棒1本(34-39)に指示不良(一時的に位置表示なし)が認められたため、原因を調査後、対応検討。	B	
10	4号機	原子炉補機冷却系熱交換器(A)電解鉄イオン注入流量計において、指示値不良(ひっかけ)が認められたため、当該流量計を点検。	D	
11	4号機	原子炉補機冷却系熱交換器(C)電解鉄イオン注入流量計において、指示値不良(ひっかけ)が認められたため、当該流量計を点検。	D	
12	4号機	タービン補機冷却系熱交換器(B)電解鉄イオン注入流量計において、指示値不良(ひっかけ)が認められたため、当該流量計を点検。	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分	法律に基づく報告事象等の重要な事象	・計画外の原子炉の停止 ・発電所外への放射性物質の漏えい ・非常用炉心冷却系の作動 ・火災の発生 など
区分	運転保守管理上、重要な事象	・以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合 * 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障 * 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など ・原子炉への異物の混入 など
区分	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点から速やかに詳細を公表する事象	・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい ・圧力抑制室等への異物の混入 ・原子力発電設備に係る業務における人の障害 など
その他	上記以外の不適合事象	・日常小修理 など

【原子力発電所における不適合事象の是正管理】

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講ずることとしております。

* 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。

不適合管理グレード分け(不適合管理委員会にて決定)

- A s : 法令、安全協定に基づく報告事象
: プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象
: 定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた事象
: 運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

(お問い合わせ)

福島第二原子力発電所・広報部・行政広報グループ
電話 0240-30-7802